

人間関係づくり実践モデル事業 報告書

学校名 (周南市立周陽中学校)

1 学校の概要

本校は周南団地の造成に伴い、昭和47年4月に新しく開校された中学校で、昭和59年度からは秋月中学校の新設分離により、新しい周陽中学校として再出発した。今年度、創立35周年を迎えた。校区には桜木・周陽・遠石の3つの小学校を抱えている。校地は広大な緑地公園に囲まれた住宅地にあり、快適な教育環境にある。また、周南コンビナートや市街商業地区のベッドタウンでもあり、校区には県営の高層住宅や多くの公務員住宅を抱えており、住民異動が頻繁にあるため、生徒の転出入が多い。PTA活動は盛んで広報誌コンクールでは幾度も全国表彰を受けている。運動面では、中国・全国大会に出場する部もある。また、文化面では全校合唱がしっかり学校に根付き、内外から高い評価を受けているし、作文や絵画等でも数々の賞を受けてきた。

(1) 校訓

自主・創造

学校教育目標
めざす生徒像

人間性豊かで、心身ともにたくましく、思いやりのある生徒の育成

知	意欲的で主体的に考えて学ぶ生徒
徳	誠実で思いやりのある生徒
体	剛健で克己心に富み、頑張る生徒
情	心豊かで表現や創造に熱心に取り組む生徒

めざす学校像

信	規律と信頼関係のある学校～集団の中で個性が輝く学校
心	温かい学校～助け合い励まし合う人に優しい学校
美	美しい学校～環境づくりで心を磨き合う学校
夢	夢のある学校～夢を語り夢に向かって進む学校

(2) 本年度の努力点

- ① 信頼関係を基盤とした誠実で熱意ある教育実践 (信頼関係の構築)
- ② 心の教育の推進 (人にやさしい学校・学級づくり)
- ③ 生徒指導・教育相談体制の充実 (いじめ・不登校への対応、小中連携教育の推進)
- ④ 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進 (生き方指導、職場体験の充実)
- ⑤ 教職員研修の充実と評価・改善 (生徒のよさや可能性を引き出す授業の実践)
- ⑥ 生徒会活動の活性化 (生徒の自主性の育成)
- ⑦ 適正で活発な部活動の指導・運営 (土・日のうち週1日の休養日の確保)
- ⑧ 安全教育の充実と教育環境の整備 (安全確保、清掃美化、施設設備の充実)
- ⑨ PTA活動、地域社会活動への積極的な参加・協力 (情報の共有と支援活動)

(3) チャレンジ目標

「心つなぐ挨拶 マナーの励行」 (達成の評価)

2 生徒の実態と事業の必要性

恵まれた教育環境の中で、生徒達は明るくのびのびと学習や部活動に取り組んでいる。しかし、人間関係づくりがうまくできない生徒も少なくはない。本校は一昨年度21名（男子8名、女子13名）、昨年度12名（男子6名、女子6名）の不登校生徒があり、友人関係の問題がその原因の一つとしてあげられる。

こうした中、本校は、平成16、17、18年度の3年間、山口県児童生徒人間関係づくり実践モデル事業の指定を受け、不登校の未然防止と不登校生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援のあり方を求めて、研究主題を「学ぶ力を伸ばし助け合う教育活動の充実」とし、「学ぶ力の育成」と「人間関係づくりの推進」の2点を重要課題に、生徒同士の信頼関係を基盤とした学級・学校づくりをめざして研究していくことにした。1年次は、教員の意識を高めるための研修を中心に実施し、人間関係をより充実したものにするために、山口県独自のAFPYを取り入れていくこととした。2年次には、構成的グループエンカウンターも取り入れて人間関係づくりを深めるための活動を各領域で実施した。しかし、体験活動が望ましい人間関係づくりに真に効果的に機能するには、行事と各領域を絡めてのカリキュラムづくりが必要であり、3年次はカリキュラムの作成についても研究を進めた。

3 取組の紹介

【1年次】

(1) 具体的な取組内容

(研究仮説)

生徒が豊かな表現力を持ち、互いに励まし合い、支え合い、協調し合える能力を思いやりと捉えることで、信頼感・助け合いのあふれる人にやさしい学舎づくりが可能になる。

このことにより、望ましい人間関係を育成することができ、本校の抱える今日的な課題、すなわち、不登校生徒や相談室登校の生徒一人ひとりの状況に応じた支援もさることながら、生徒をとりまく環境、雰囲気明るく、おだやかになり、より多くの生徒の学ぶ力を伸ばし、基礎・基本の徹底も期待できる。

○ 研究の方法・研究主題へのアプローチ

- ・ 3部会（特別活動部会・道徳部会・教科部会）の設置
- ・ 学級活動の活性化
- ・ 総合的な学習の時間の深化、充実
- ・ カリキュラムの整備
- ・ 教育相談活動による支援
- ・ 人間関係づくりを支援する研修の実施

○ AFPYについての実技及び理論研修

講師 山口県教育研修所 藤村研究指導主事（11/26、12/10、1/24）

(2) 1年次の成果

AFPYの理論や実技を研修することで教員の意識が高まり、人間関係をより充実したものにするためにAFPYを各領域で取り入れていくことを確認し、系統性をもって指導計画を立案していくための基盤づくりができた。

【2年次】

(1) 具体的な取組内容

研究2年目は、実践の中核となる年である。AFPYやグループワークを取り入れた学級活動や、研究主題に基づいた題材の道徳指導案を検討し、全クラスで生徒の実態に応じていかに具体的に実践していくか、また検証していくかが課題となる。さらに、互いに励まし合い支え合い協調し合える場面づくりをめざして、総合的な学習も含めたクロスカリキュラムを作成し研究の深化・充実を図っていくことが望まれた。平成16年度の反省をもとに、平成17年度の重点項目を以下のようにした。

- ① 各部会で研究主題に基づいて仮説の設定をする。
 - ② AFPYやグループワークを取り入れた学級活動や、人間関係づくりの視点に立った道徳を全クラスで実施する。
 - ③ 検討した学級活動や道徳指導案が、望ましい人間関係づくりのために、より効果的な形で実践されるために、生徒の実態を把握するためのアンケートを実施する。
 - ④ 総合的な学習を含めてクロスカリキュラムを作る。
- 各部会研究仮説

特別活動部会	学習内容・体験を選択できるAFPYを学習活動(学級活動を中心として)に取り入れていくことにより、生徒にとって安心できると実感できる。そのことにより、生徒一人ひとりが学級での存在感・所属感をもてるようになり、安心・安全な学校生活を送ることができる。
道徳指導部会	他の教育活動と密接に関連を図りながら、生徒一人ひとりが人間尊重・生命尊重について自覚を深め、感謝と思いやりの気持ちをもって他者とかわらうとする道徳授業を確立することで、自分の属する集団の在り方を理解し、励まし高め合おうとする道徳的実践力を育成することができる。
教科指導部会	「わかる授業」の展開により、生徒が主体的に学ぶことができる。また、教師と生徒が積極的にかかわり合う場面や生徒同士が積極的にかかわり合う場面を工夫することで、教師と生徒間、生徒間の望ましい人間関係が育成できる。さらに、学習する環境や学級の雰囲気を整ってきて、教科のめざす基礎・基本の徹底が図られる。

○ 職員研修

- ・SGE(構成的グループエンカウンター)についての実技及び理論研修
講師 山口大学人文学部 林 伸一 教授 (8/19)
- ・学級づくりのための理論と実践及び人間関係の構図
講師 周南市立須金中学校 霜川 正幸 教頭 (10/26、1/26)

(2) 2年次の成果

望ましい人間関係づくりのとらえ方について研修し、グループエンカウンターの実技体験を積み重ねた。各部会では研究仮説を設定し、AFPYやSGEやGW(グループワーク)等の体験活動を取り入れた授業実践を行った。



【3年次】

(1) 具体的な取組内容

3年目の研究の中心は、AFPY・SGE・GWを取り入れた学級活動や人間関係づくりの視点に立った道徳授業、そして望ましい人間関係の中での基礎・基本の徹底を図る教科の授業実践を基盤に、それらを行事を絡めたクロスカリキュラムの中に位置づけることであった。今年度は特に、総合的な学習のテーマ『「いのち」「いきる」「ともに」～いのちきらめく瞬間(とき)』と全校生徒行事を中心に据えたカリキュラムの中で、学級活動・道徳の時間の位置づけを行った。学級活動・道徳の時間の「生徒が互いに励まし合い、支え合い、協調し合える場面づくり」が、行事への意欲的な取組や、個や集団の高まりにプラスの効果をもたらし望ましい人間関係づくりが促進されることをめざした。2年目の研究の反省から、3年目の研究の重点を以下に絞った。

- | |
|-----------------------------------|
| ①クロスカリキュラムの充実 |
| ②各部会で仮説に基づいた実践とその検証 |
| ③AFPYやSGEのより適切な活用と、豊かな表現力のある生徒の育成 |
| ④三年間の研究の累積（三年次のまとめ作成） |

○ 職員研修

講師 広島国際大学 久次 弘子 助教授 (8/1)

パフォーマンス学の基礎知識とレッスン・アサーショントレーニングと非言語表現

〔特別活動部会での実践〕

- ① 研究活動方針「安心して生活できる集団を育成するための諸活動の工夫」
- ② 重点項目・学期に一度、学年ごとにAFPYやグループワークを取り入れた活動を実施する。
・他領域との連携を図り系統的な計画実践
- ③ 1年間の活動例



1 学 期	主 題	新しい学級での人間関係づくり	
	1年・2年・3年	AFPY (ラインナップ、セブンじゃんけん、人の輪でスタンドアップ)	
	主 題	宿泊学習、取材学習、修学旅行での人間関係づくり	
	1年の活動	AFPY (プロジェクトアドベンチャー、キャッチボール、インパルス)	
2 学 期	2年・3年	グループワーク (レッテル張り、アースプレーキング)	
	主 題	校外学習、職場体験学習、福祉体験学習での人間関係づくり	
	1年・2年・3年	グループワーク (敬語の使い方)	
3 学 期	主 題	文化祭、音楽祭での人間関係づくり	
	1年・2年・3年	AFPY (人の輪でスタンドアップ、フープリレー) グループワーク (紙の輪作り)	
	主 題	男女の理解と協力	
3 学 期	1年・2年・3年	AFPY (フープリレー)	



④ A F P Yを取り入れた実践事例

1 日 時 平成 18 年 9 月 20 日（水曜日） 第 2 校時

2 学級・場所 1 年 A 組

3 単 元 名 学級生活をみつめよう

4 本校研究主題とのかかわり

(1) 求める授業像

学級生活をよりよくしていくために、励まし合い、支え合うことの大切さを確認するとともに、それを実践しようとする態度を身に付けることができる授業。

(2) 具体的な手だて

安心して生活できる集団を育成する活動として、効果的なグループワークを取り入れる。

5 学習指導案

(1) 主眼 学級生活を振り返り、「良い点」「改善すべき点」を明らかにし自覚する。

良い点は伸ばす一方、改善の具体的方法を考え、理解し、活動への意欲をもつ。

(2) 準備 ワークシート、紙テープ

(3) 指導過程

学習内容	学習活動	教師の支援	時間	評価
導入 活動	1 グループワーク ・「人の輪で起立」	○ <u>課題達成のために、協力するように促す。</u>	1 0	①
	2 学級生活の評価 ・「学級全体の様子をふり返ろう」、「自分の取組をふり返ろう」で学級生活を見つめ直し、課題を自覚する。	○自分の考えで学級全体の様子や各自の取組みみつめなおすようにする。	2 0	②
展開	1 各自のふり返りの結果を見直す ・「ふり返りの結果を見つめよう」の項目に従い、自分の考えをまとめる。	○よい点を認め合い、改善点については個人攻撃にならないように配慮し、前向きな考えに結びつけていきたい。	3 0	③
	2 学級の「よい点」「改善したい点」について話し合い、まとめる。			④
	3 「改善したい点」の改善策を話し合う。			⑤
まとめ 活動	1 伸ばしていく点と改善していく点の改善策について確認し、実行していこうとする意欲をもつ。 ・「紙の輪作り」(各生徒は、自分がしなければならないことを 1 0 c m の紙テープに書く。それを友達の紙テープと鎖状につなぎ合わせ、一つの紙の輪を作り、学級に掲示する。)	○ <u>前向きな気持ちで取り組むことが、改善の基盤であることに気づかせたい。</u>	5 0	⑥

(4) 評価

- ①友達と励まし合いながら、前向きに取り組もうとしているか ②テーマに関心をもち、主体的に取り組もうとしているか。
③学級生活のふり返りを見直すことができたか。 ④進んで話し合いに参加できたか。 ⑤改善策について自分の考えや意志を表現することができたか。 ⑥改善するための取り組みを理解し、意欲的に取り組もうとしているか。

(考察)

- スタンドアップの後のふり返りが大切であろう。「できた」、「できない」の理由を考えることによって、学級生活にいかすことを考えることができるのではないか。
- スタンドアップと後の「紙の輪づくり」がつながっており、良い活動と思える。
- 「紙の輪」は生徒に見える形の成果として、教室内で生徒によく見える位置に掲示するべきである。
- 「学級のよい点、改善点ベスト3」「紙の輪」は掲示等で、常に生徒に意識させたい。
- 1学期に行った AFPY の活動における、協力する姿が撮影されている写真を貼り続け、協力できる学級であることを生徒たちに意識させ続けたい。

(この学級活動後の生徒の変容)

生徒はこの学級活動で「学級のよい点、改善点ベスト3」を確認することができた。その確認の上に、自分の取り組むべき姿勢を紙テープに書き、それぞれの紙テープをつなげて「ひとつの輪」にした。それぞれの思いをつなげて「ひとつの和」になることをめざして、文化祭のクラス合唱や、音楽祭の全校合唱へ、取り組んでいった。以下は生徒の感想である。

- クラス合唱では、最初は声もあまり出ていなくてバラバラでけんかをしていました。だけど、だんだんクラスがまとまって文化祭では優秀賞をとることができました。1年A組が「ひとつの和」になって良かったです。
- だんだんみんながまとまってきて、優秀賞をとることができました。やっぱり大切なことは、「ひとつの和」だと思います。
- 1年A組は最初は仲が悪かったけど、最後はみんなで「心をひとつ」にして歌うことができました。そして文化祭のクラス合唱では優秀賞をとることができました。とってもうれしかったです。また、音楽祭でも全校生徒で心をこめて歌うことができ、とてもよかったです。これからもみんなで「心をひとつ」にしてがんばりたいです。
- 学級に掲示してある「よりよい学級にするための思いが書かれた紙の輪」は、僕たちが「ひとつの和」を目指していることの象徴であると思う。あの「ひとつの輪」を忘れずに「ひとつの和」を目指していきたい。

友達と手をつないで作る「人の輪」は、友達と心をつないで作る「人の和」の象徴であること。心をこめた紙で作る「ひとつの輪」は、心でつくる「ひとつの和」の象徴であること。

これらのことを、文化祭でのクラス合唱や市音楽祭での全校合唱で生徒は実感することができた。

[道徳部会での実践]

- ① 研究活動方針 「人間関係づくりの視点に立った道徳授業」
- ② 重点項目 ・人間関係づくりに関わる内容項目での一人1指導案づくり
 - ・指導方法、指導過程、導入での動機づけにおける工夫
 - ・行事を中心としたカリキュラムの見直し
 - ・表現力やコミュニケーション力を鍛える活動、AFPYやSGEの適切な活用
- ③ 平成17～18年度の代表的な実践事例

ア. 1年生

1	主 題 名	公正・公平（4－(4)）
		資料：「切る言葉・つなぐ言葉」（教師による自作）
2	本校研究主題とのかかわり	
(1)	求める授業像	教師自作の資料で、身近にありがちな人間関係の問題点を具体的に認識させ、解決策をさぐらせる授業。
(2)	具体的な手だて	資料の中で、人間関係を切ったりつないだりする言葉を空欄にして示し、自分の日ごろの言葉遣いをふり返らせる。
(3)	重点項目との関連	資料の中の一郎の心を切る言葉、つなぐ言葉についてグループで協力して話し合う場を設定し、お互いにコミュニケーションをとりながらより高い価値を身に付けさせる。

イ. 2年生

1	主 題 名	愛校心（4－(7)）
		資料：「僕たちの学校」（中学校道徳「自作資料集」明治図書）
2	本校研究主題とのかかわり	
(1)	求める授業像	一人一人が学校に愛着や誇りをもつことの必要性を理解することによりお互いが協力し合って校風を高めようとする意識の土台を作る授業
(2)	具体的な手だて	生徒総会の議題や学校創立 30 周年記念誌など、生徒自身の体験や卒業生の声を取り上げて、「自分たちの学校」という意識の高揚を図る。
(3)	重点項目との関連	資料の中の亮一が言いたかったことをグループで話し合わせ、ロールプレイ形式にして発表させ、解決策の再考を促す。

④その他作成された指導案の代表例と工夫点（今年度はその他4つの指導案作成）

学年	主 題	資 料	重点項目にかかわる工夫点
1	生きる喜び 3－(3) 人間愛 2－(2)	難病の少女アシュリー (フジテレビ制作)	◎ビデオ教材の活用 ◎資料と自分の生活をつなぐ発問による導入
2	信頼できる 友達関係 2－(3)	本当の勇氣 (静岡教育サークル シリウス)	◎副読本以外からの資料開発 ◎価値観の変化を明確にするための同じ発問のくり返し ◎終末で補助資料活用（詩の朗読）
3	男女の理解 2－(4)	関白宣言 (さだまさし作詞・作曲)	◎音楽（歌詞）の活用 ◎アンケート結果を示して、現在の価値観を確かめる導入 ◎価値観の高揚を図るための意見の対立場面設定

〔教科部会での実践〕

- ① 研究活動方針「人間関係づくりを意識した授業研究」
- ② 重点項目
 - ・ 教員一人ひとりの授業スキルの向上。
 - ・ 授業の中での人間関係づくりとは何かを探る。
 - ・ 授業の中での人間関係づくりをどう考え、位置付けるか。
 - ・ 人間関係づくりの具体例を提示する。
- ③ 今年度の研究の柱（豊かな表現力のある生徒の育成）と関連する実践事例

家庭科（選択教科）	「和服の製作」（第3学年20人）
求める授業像	道具の共有によって、お互いに声かけや周りの状況をみて行動するなどのコミュニケーション能力を身に付ける授業。
具体的な手立て	生徒が関わり合う場面を多くするために、話し合ったり、発表したり、共同で製作する場面を設定する。また、教師とのかかわりを多くするために、作業と作業の間に教師の確認という場面を設定する。

- ④ 人間関係づくりを意識した授業についての考察

<p>○生徒一人ひとりと関わる時間が多くもてるように授業を仕組むことは、生徒をよく知ることにつながり、授業での生徒一人ひとりの支援の仕方が変わってくる。授業以外で支援できることの情報も得られ、教師間の連携が重要になる。</p> <p>○授業の中で一人ひとりが素直な表現をするためには、まず第一に学習規律の確立が不可欠である。みんなが気持ちよくはじめをもって授業に臨む構えである。具体的には、授業の準備とあいさつをきちんとする。学習用具を忘れない。準備をしてから授業に臨む。開始時、終了時のあいさつを、元気よくさわやかに行う等である。そして第二に、誰もが自己開示しやすい環境をつくることである。具体的には、マイナス的な発言や行動を慎み、協力的な暖かい雰囲気づくりをすること。協力して課題に取り組み、協力して準備、片づけを行うこと。他人を尊重する言動をとることである。</p> <p>○学習規律を確立して授業を進め、「わかる」「わかった」といえる学習内容が増えていくことが、一人ひとりの学習意欲の高揚につながり、学力の向上につながる。</p> <p>○学力の向上には、真剣な取組、丁寧な取組、几帳面な取組も不可欠である。</p>
--

（2）クロスカリキュラムの作成

人間関係づくりをテーマとした学級活動や道徳授業を、行事や総合的な学習の時間とリンクさせて、総合単元的にテーマに迫っていくことが、望ましい人間関係づくりにより効果的であると考えた。新たに体験的な活動を考えるのではなく、今までの行事や体験活動を見直し、その流れの中で総合的な学習や文化祭音楽祭等の行事を中心に据えて、人間関係づくりに視点を置いた学級活動・道徳授業を仕組むためにクロスカリキュラムの編成に着手した。

- ・ 資料①年間カリキュラム
- ・ 資料②「萩取材学習」を中心にしたカリキュラムの詳細
- ・ 資料③「萩取材学習」の1時間目の学級活動の流れ
- ・ 資料④クロスカリキュラム「萩取材学習」を終えての生徒の変容



資料③ 4月18日6校時 学級活動

目的：生活班の仲間と交流し、打ち解けあう。

互いの意見を交換する場を繰り返し設けることで、意見交換しやすい関係づくりをねらう。

準備物：風船（6つ） 新聞紙（3日分程度） 探偵ゲーム用カード（5セット）

セロテープ 振り返しシート

1、**ネームトス**

班になる。相手の名前を呼びながら、風船を渡す。隣の人には渡せない。一人一回ずつ受け取り、最初の人まで戻す。回す順番が決まれば、2回目以降は班対抗で競争する。回す順番、席は変えない。

(競争の例)

- ① 風船を手渡しで受け渡す。2周。
- ② 風船を投げて受け渡す。2周。
- ③ 風船を手で持たずに、打ち返ししながら、回す。2周。

2、**風船割り** セロテープを6枚貼る。隣の班の風船をもらい、二人組みではがす。

教師からセロテープ（5センチ程度）を6枚もらう。自分の班の風船に貼り、隣の班に渡す。渡された風船のセロテープを、二人組みで順番に一枚ずつ剥がす。（一人が持ち、一人が剥がす。）最後まで割らずに、全部剥がしたら成功。（制限時間を用意してもいい）

3、**探偵ゲーム・ミニ**

新聞紙を配り、まるめて叩き棒にする。（あまり硬くさせない。）探偵カードを配り、切って分けさせる。カードをシャッフルして一人一枚とってゲームスタート。

- ① 全員、机に伏せる。
- ② 真犯人マークのカードを引いた者が、そっと叩き棒を取り、班の誰かを叩く。
- ③ 共犯者は、真犯人の気配が周りにばれないよう、犯人のふりをして動き回る。
- ④ 叩かれた者が10数えたら、全員顔を上げる。
- ⑤ 叩かれた者が探偵となり、真犯人を当てる。

※ 探偵は、二人の人に「右か左の人が動きませんでしたか？」と尋ねることができる。

※ 尋ねられた人は、正直に答えても、嘘をついてもいい。

※ 探偵は、真犯人と思う人の頭を叩き棒で叩く。

※ 真犯人が当たっていれば「参りました」と言う。ゲーム終了。

※ 真犯人が違っていれば、間違えられた者は探偵を叩き返す。本当の犯人が名乗ってゲーム終了。

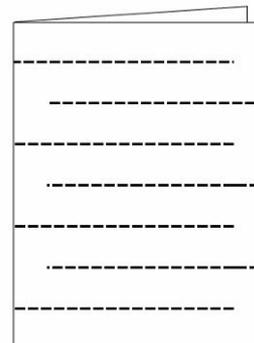
⑥ カードを配りなおし、繰り返す。

4、**新聞紙をくぐりぬける！**

各班に新聞紙を半分ずつ配る。新聞に穴を開け、その中を全員が通りぬけることが課題。やり直したい班には、何枚でも新聞を渡して良い。

(右の図の点線のように切れば、全員がくぐりぬけられる輪ができる。)

5、**ふりかえり**



二つに折って、波線のように切り、破れないように広げる。

資料④ クロスカリキュラムの実践例（平成18年度2年生萩取材学習）

2年生で行う萩取材学習は、5、6人班で萩に関する学習テーマを設定し、萩を取材して回り、後日ポスターセッションを行うものである。今回、人間関係づくりの視点から授業を行う上で意識したのは、グループ活動に積極的に参加できない、発言の少ない生徒たちである。だれもが班の中で受け入れられていると感じ、自分の考えを安心して発言できるようになることをめざして授業を考えた。そのためもあって、今回の一連の学習活動は学級活動の時間を利用したAFPYのアクティビティから始めた。新しい学年になったばかりで緊張気味の人間関係をほぐし、次からの話し合い活動を少しでもスムーズに進めるためである。

総合的な学習の時間では、班による学習テーマや研修ルートの決定を進めていった。この際、話し合い活動に全員が意見をもって参加できることをめざし、ワークシートを作成した。一人ひとりが自分の考えを書く枠を設け、全員が考えを書いてから話し合いに入るよう明記し、必要ならば一人ひとりの意見を書き取る枠を用意した。その上で話し合い活動に入る前に、テーマやルートを決めることだけではなく、班での仲間意識を高めることも話し合いの目的であることを告げ、そのために全員参加で進めていくことの大切さを確認して、話し合いを始めさせた。

また、道徳では同じような班別研修を題材とした教材を用いて、よりよい協力のあり方について話し合いを進め、考えを深めたり、学級活動で集団行動をする上で守るべきことを確認したりする時間を取り、取材学習当日を迎えた。

効果（Aさんの場合）

月日	Aさん	班長
5月15日	今日は1時間目と6時間目が総合でした。うちの班はおくれぎみだったのでがんばってやりましたが書くコトを書いてなくて前のだんかいからやりました。みんなけっこうしんげんにやったし班長ががんばってくれたのでおくれをとりにどせました。明日はどんどん自分から意見を出したいです。	今日、萩に行くルートを決めました。ぼくたちの班は、5分間とって自分の行きたいところを3つ上げて（ママ）もらいました。それから一人一人の意見をたいせつにしながらやりました。
5月16日	今日も総合がありました。今日はNo.5、6のプリントをやりました。みんなの意見からテーマを決めたりしていました。ちょっとおくれぎみだけど班でけっこうまとまってできました。班で萩に行くのがすごく楽しみになりました。それまで事前学習をがんばりたいです。	今日、総合でルートをきめました。なかなか決まらなかったです。みんなの意見をだいにしながらやりました。するとルートはきまりました。1人1人行きたいところが入るようになりました。
5月23日	今日はまちにまった萩での校外学習です。最初は雨がふっていたけどやんでよかったです。はじめに美術館に行ったけどどこではおくれてしまいました。次からはどうしたらいいかを考えて後の所はきちんと行けました。今日は楽しい校外学習になってよかったです！！	今日、萩の見学があった。ぼくたちの班は、他の班よりも団結力ができたと思う。なぜなら、見学に行く前からいろんな事件があったり。ついては他の班をまたせたり。萩の道を大きくまちがえて全く違う方向に行ったり。こんな失敗をみんなでのりこえてきたので絶対他班より団結力があると思う。

4 3年間を通しての取組の成果と課題（まとめ）

（1）不登校の未然防止と不登校生徒への支援

- 全生徒を対象にした定期の教育相談を各学期に1回実施した。
- 小学校との連携を強化したため、小学校から得られた情報で、9～10月に1年生で欠席の続く生徒が不登校にならなかった事例もある。
- 保健室にあった出欠黒板を職員室に移動し、日々の全生徒の欠席状況を確認し、実態の把握に努め、欠席が続くようであれば、担任による相談活動や学年会での支援方法を検討し早期対応を心がけた。
- くすのきラウンジ（市教育支援センター）との連携、学習支援員との連携により、一人ひとりの状況に応じて支援を行った。
- 第1相談室のみで対応していたが、2学期に第2相談室を整備し、複数の生徒に対して同時に支援することができるようにした。

生徒数・学級数（19.1.9現在）

	男	女	計	学級数
1年	95	65	160	5
2年	90	76	166	6
3年	109	78	187	7
計	294	219	513	18

不登校生徒数の推移

	1年生	2年生	3年生	全校	不登校生徒の割合
16年度	2 / 187名	5 / 189名	14 / 189名	21 / 548名	3.8%
17年度	3 / 167名	2 / 183名	4 / 170名	12 / 520名	1.7%
18年度 (18.12.31)	6 / 159名	4 / 166名	3 / 187名	13 / 512名	2.5%

（2）意識調査と集計結果

生徒の変容を見るため、昨年度立ち上げた意識調査を今年度は6月と11月に実施した。6月は、総合的な学習の時間のテーマを中心に据えたクロスカリキュラムの計画に従って人間関係づくりに取り組んできた成果や、新しい学年になってからの学級づくりを見直す意味で有効であった。また、11月末には、文化祭音楽祭を中心に据えたクロスカリキュラムの計画に従って人間関係づくりや学級づくりに取り組んできた成果を評価できると考えた。

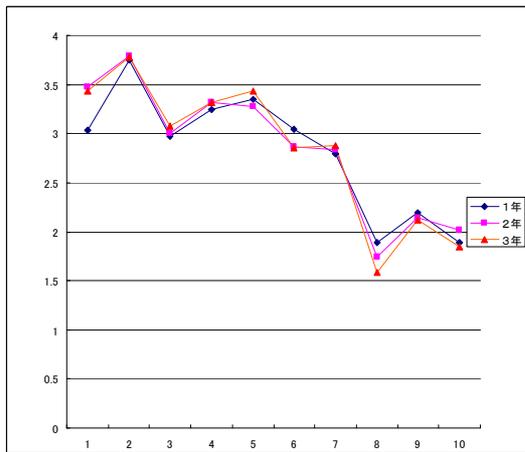
評価段階の中間値（以下「評価中間値」）を2.5とし、それを上まわれば、集団としては「そう思う」に、下まわれば「思わない」に傾いているものとした。

- ・ 望ましい関係の友達がいるか 項目① 1～4
- ・ クラスで安心して生活できる実感があるか 項目① 5～10
- ・ クラスでの存在感、所属観、共同体意識があるか 項目② 1～4
- ・ 思いやりがあって他者への配慮ができるか 項目② 5～8
- ・ 豊かな表現力をもっているか 項目② 9～10

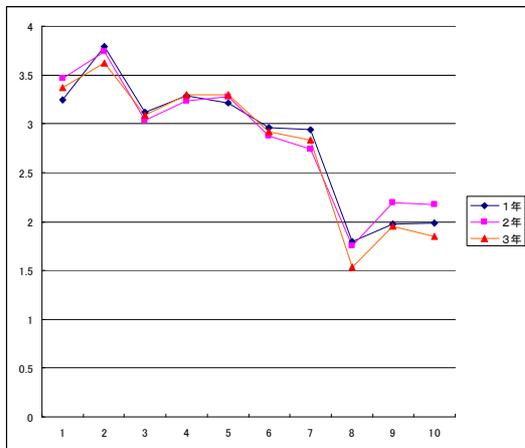
調査項目①

- 1 本音や悩みを話せる友達がいる。 2 気軽に話せる友達がいる。
- 3 頼りにしてくれる友達がいる 4 協力してくれる友達がいる。
- 5 仲の良いクラスだと思う。 6 クラスの中にいると、ほっとした気持ちになる。
- 7 クラスの中で自分を素直に出せる。
- 8 クラスの人から無視されたり、からかわれたりする。
- 9 発言の時に周りの人が気になってとまどうことがある。
- 10 学校に行きたくないときがある。

平成18年6月



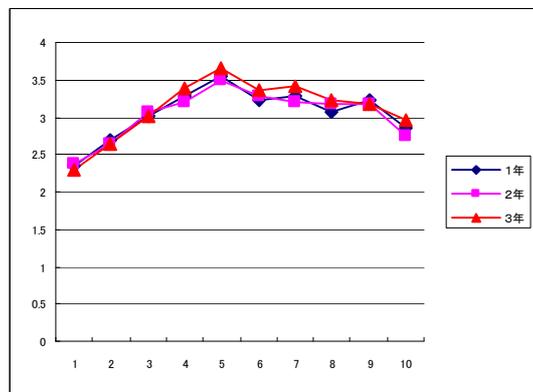
平成18年11月



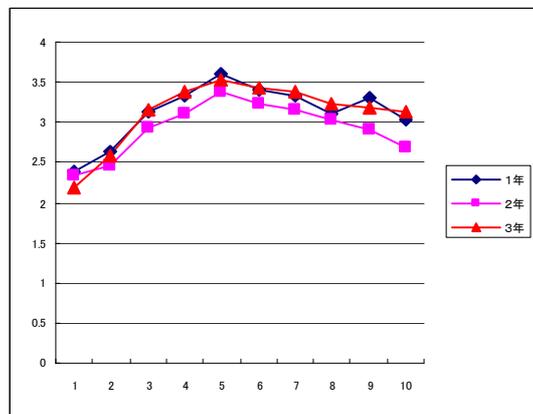
調査項目②

- 1 クラスには自分の存在感がある方だと思う。
- 2 性格や人間性で友達から認められている。 3 活動には積極的に取り組んでいる。
- 4 みんなで決めたことには従っている。
- 5 友達が一生懸命に取り組み失敗したときは許してあげる。
- 6 友達の気持ちを考え、話を聞いたりしている。
- 7 何かを頼むときに迷惑にならないか考えている。
- 8 自分が嫌なことは友達にもしないようにしている。
- 9 相手が傷つかないように話をしたり、気持ちを表現したりしている。
- 10 腹が立つことがあっても、できるだけ言葉で気持ちを伝えられる。

平成18年6月



平成18年11月



1年生では、「本音や悩みを話せる友達がいる」生徒の割合が確実に増えており、AFPYを取り入れた学級活動を計画的に実施していった成果だといえる。また、3年生では、「クラスの人から無視されたりからかわれたりする」生徒の割合が減少し、安心して生活できる空間を広げてきたことを確信する。一方、「発言するとき周囲が気になる」や「学校に行きたくないときがある」生徒の割合が2年生では増え、心身の著しい成長期の人間関係づくりをより系統的に行う必要性を感じた。

(3) 成果と課題

ア. 研究の成果

- ① AFPYやGWを取り入れた学級活動を、全学年で每学期1回以上実施
- ② 道徳における、SGEやワークショップのような体験活動を通じた人間関係づくりにかかわる主題へのアプローチ
- ③ 教科部会における「コミュニケーション力」育成へのアプローチ
- ④ 体験活動を中心にして、人間関係づくりに役立つ実践的な態度を育てる場と、心を育てるための場を、クロスカリキュラムに位置づけたこと
- ⑤ 生徒の集団への所属感と行事に取り組む時の連帯感に見られる高まり
- ⑥ 人間関係づくりについての職員研修の充実と人権に対する意識の高まり

イ. 今後の課題

- ① 各教科間での関連性を図り、体験活動を活かしたカリキュラムの設定
- ② 時期や生徒の実態に応じた、AFPYやSGEのより適切な活用
- ③ コミュニケーション力やストレスマネジメント能力を含む豊かな表現力のある生徒の育成
- ④ 基礎・基本の徹底と授業規律のあり方
- ⑤ 小中連携教育、キャリア教育との関連を図り、不登校の未然防止と不登校生徒へのきめ細やかな支援の推進

今年度は、総合的な学習の時間における体験活動や行事を中心にして、学級活動や、道徳授業を効果的に組み合わせ、望ましい人間関係づくりのためのクロスカリキュラムとして機能させることができ、全体的には良好な集団がつけられているように感じる。しかし、思春期の個人のレベルでは、依然、人間関係のつまずきは存在している。未熟な人間関係の中で生じたささいな「いきちがい」が、重大なトラブルに発展するケースも少なくない。

今年度の職員研修で得たコミュニケーションの取り方やソーシャルスキルトレーニングについても、AFPYやSGEのように生徒たちに還元していきたい。本校の「学ぶ力の育成」「人間関係づくりの推進」の2点は、今日的な学校教育の課題である「学力の向上」「心の教育」と深く関わっていることを認識しながら、来年度の研究につなげたいと考える。

- (参考文献) ・「AFPY入門」藤村寿 ・「構成的グループエンカウンター事典」國分康孝・國分久子 図書文化
- ・「グループ体験による学級育成プログラム」河村茂雄 図書文化
 - ・「思いやりを育てる内観エクササイズ」國分康孝・國分久子 図書文化

資料① 年間カリキュラム

※人間関係づくりに関連する主題・項目

矢印→は総合的な学習の時間との関連を示す。

クロスカリキュラム (平成18年度)											
月	学校・生徒会行事	人間関係づくりに関する学習目標	1年			2年			3年		
			総合	学級活動	道徳	総合	学級活動	道徳	総合	学級活動	道徳
4月	入学式、対面式、専門委員会 市春季体育大会 家庭訪問、単元テスト	望ましい人間関係を築き 安心して生活できるクラスをつくる	宿泊学習	※中学生をはじめよう(AFPYライナナップ) 学級組織と自分の役割 中学校では何を学ぶのか	※集団生活の向上 公德心、社会連帯	取 材 学 習	※自分らしく生きる(ライナナップ) 1年生の自分と2年生の自分 みんなで伸びる学級を	礼儀 節度・調和のある生活	修 学 旅 行 震 災 学 習	※1年間の見直しをしよう [AFPYライナナップ] 充実した学校生活を送ろう	節度・調和のある生活 自然愛護・畏敬の念
5月	参観日、PTA総会 スポーツテスト、部活懇談 歯科検診 1年宿泊学習 2年取材学習3年修学旅行 参観日、専門委員会			話し合い活動と学級づくり ※宿泊学習・目的[キャッチボール・インバリス他] 宿泊学習に向けて 交通教室 なぜ今学ぶのだろう	自然愛護、畏敬の念 ※友情・信頼 向上心、個性の伸長		なぜ人は働くのだろう ※取材学習・目的[アースブレーキング] 取材学習に向けて	※友情・信頼 ※生きる喜び ※集団の協力		※修学旅行に向けて[アースブレーキング・20の扉] 希望の実現に向けて 進路を考えよう	※友情・信頼 ※規律を守る ※支え合う命
6月	内科検診 教育相談 教育相談 期末テスト、専門委員会			学習の達人になろう 夢や希望を大切にしよう 生徒総会について 1学期を振り返って	向上心、個性の伸長 ※集団生活の向上 生命の尊重 理想の実現		自分の学びを考えよう 自分の学習を振り返ろう 生徒総会について 1学期を振り返って	友情・友と切磋琢磨する姿 強い意志(ライバル) ※より良い校風の樹立 世界の中の日本人 向上心、個性の伸長		生き方について考えよう 進路希望選択を調べよう 性行動の責任 生徒総会について 1学期を振り返って	信頼できる仲間 生きる喜び ※謙虚・広い心 ※より良い校風の樹立 勤労の尊さ
7月	生徒総会、学校保健委員会、交通安全教室 高校説明会、ダム絶対教室 保護者会、終業式			働くとは？職業とは？ 夏休みの過ごし方について	※より良い校風の樹立 ※生命の尊重		異性への関心 夏休みの過ごし方について	謙虚・広い心 家族愛 ※生命の尊重		学び続けるすばらしさ 学級活動を見直そう 夏休みの過ごし方について	理想の実現 秩序・規律 ※生命尊重
9月	始業式、課題テスト 運動会 校内研修会、県体 マラソン大会	感一人一人が主体的に活動し、 所属感を、高めるよう 支援する	大津島校外学習	学級生活を見つめよう 食べ方暮らし方で健康に 運動会を振り返って 2学期を充実させるために	※生きる喜び ※友情・信頼 ※男女の人格尊重 生命の尊重 秩序・規律	職 場 体 験 学 習	健康な毎日を送るために 安全な生活と自分 運動会を振り返って ※職場体験学習に向けて、正しい職業観[GW敬語の使い方]	※友情・信頼 公德心・社会連帯 自然愛護・畏敬の念	福 祉 体 験 学 習	地域や社会と共に 進路の選択に向けて 運動会を振り返って 2学期を充実させるために ※福祉体験学習に向けて [GW敬語の使い方]	※生命の尊重 郷土愛 礼儀
10月	新人大会 身体測定、中間テスト 2年職場体験学習 3年福祉体験学習 大津島校外学習 職場体験学習、文化祭週間 文化祭、専門委員会			将来の人生を脅かすもの ※校外学習に向けて[GW敬語の使い方] ※文化祭・音楽祭に向けて 自分を知る[AFPYスタンダードアップ人の輪]	自律・責任 家族愛 勤労の尊さ		2学期を充実させるために 職業について調べよう ※文化祭・音楽祭に向けて 自分を知る[AFPYスタンダードアップ人の輪]	勤労の尊さ 理想の実現 自律・責任 ※より良い校風の樹立		自分にあった進路先を選ぼう 学習の問題点や悩みを解決 ※文化祭・音楽祭に向けて自分を知る[AFPYフープリール・ヒューマンノット]	世界の中の日本人 勤労の尊さ 理想の実現 ※生命尊重
11月	国民文化祭 市音楽祭、人権を考える集い 教育相談芸術鑑賞会 期末テスト、専門委員会			悩みや不安は誰にでもある 文化祭を終えて 生徒会役員を選ぼう 自分を知る、友達を知る	※公平・公正 ※謙虚・広い心 ※差別や偏見のない社会 郷土愛		自分らしさを生かそう 文化祭を終えて 生徒会役員を選ぼう 性情報の選択	向上心・個性の伸長 ※男女の人格尊重 ※公正・公平 ※生命の尊重		文化祭を終えて 生徒会役員を選ぼう 社会の一員として生きる	※男女の人格尊重 ※公正・公平 ※家族愛 向上心・個性の伸長
12月	生徒会役員選挙運動開始 生徒会役員選挙 三者懇談終業式	豊 か な 学 び を つ ま じ り な 表 現 を つ ま じ り な 力 を 鍛 え あ ら せ る	ライ フ ラ イン	2学期をふり返って 生徒会役員選挙について 自分を見つめ特色を知る	節度・調和のある生活 ※人間愛 生命の尊重	修 学 旅 行 震 災 学 習	2学期をふり返って 生徒会役員選挙について 社会に生きる一員として	秩序・規律 ※生命の尊重 ※友情・信頼	3 年 間 を ふ り 返 っ て	2学期をふり返って 生徒会役員選挙について 手軽な出会い(テレクラ)	自然愛護・畏敬の念 ※集団生活の向上 ※生きる喜び
1月	始業式、年頭所感 書き初め展 3年学年末テスト			女子と男子、違う？同じ？ あなたは「中学生」ですか？ ※思春期の心と体[AFPYフープリール生命誕生]	日本人としての自覚 向上心・個性の伸長		自分の進路を考えるために 卒業後に学ぶ道 ※男女の理解と協力[AFPYフープリール健康な生活]	自然愛護・畏敬の念 ※謙虚・広い心 郷土愛		思い出に残る学級にしよう 進路の最終決定をしよう 悩みとその克服 ※男女の理解と協力[AFPYフープリール]	人間愛 自然愛護、畏敬の念
2月	1年校外学習、学校保健委員会 教育相談 1、2年学年末テスト			生き方いろいろ十人十色 将来の設計と進路の選択 悩みとその解決 じぶんらしさは	謙虚・広い心 節度・調和のある生活 強い意志		適性を生かした進路を考えよう 自分の将来をデザインしよう 男女交際 悩みとその解決	※人間愛 日本人としての自覚 ※生きる喜び(人とのふれあい)		ストレスと上手につきあおう 中学時代のまとめをしよう 自分を信じて 3年間を振り返って	公德心・社会連帯 強い意志 世界の中の日本人
3月	3年を送る会、卒業式 1、2年クラスマッチ クリーン作戦、修了式		1年生の学習のまとめ もうすぐ2年生 1年間を振り返って	世界の中の日本人 勤労の尊さ	2年生の学習のまとめ 最上級生に向けて 1年間を振り返って	理想の実現 世界の中の日本人	感謝の気持ちを表そう 夢に向かってはばたこう	※家族愛 自律・責任			

資料② 第2学年 萩取材学習クロスカリキュラム(いのちきらめく瞬間「いきる」～維新をいきた人に学ぶ～)

月日	総合的な学習の時間	学級活動	道徳	人間関係づくりの上でのねらい	活 動
4月18日		①班の仲間との交流		班員同士の緊張をほぐす。	ゲーム4種(ネームトス・風船割り・探偵ゲームミニ・新聞紙をくぐりぬける)と振り返り(ハイ&ロー)
5月2日	②班目標、学習コース決定			話し合いを繰り返し、互いに考えを述べやすい雰囲気を作る。 より良い協力のあり方を考える。	ワークシートに従い、全員が意見を持ったことを確認してから、全員が発言して話し合う活動を繰り返す。 モラルジレンマ型の本教材を元に班長の判断への賛否を話し合う。
5月7日	③班のテーマ、研修ルート検討				
5月9日			④副読本「賞状」(正進社「道しるべ」)		
5月11日	⑤研修ルート				
5月15日	⑥研修ルート、役割分担決定				
5月19日		⑦事前指導		協力するという目的を意識づける。	事前指導の一環として、学年主任の話を聞いて、「協力して行動する」という目的を確認する。
5月22日	⑧トラブル・シミュレーション			協力しようとする雰囲気を高める	自分勝手な行動や事故によるトラブルが起きた場合について、班で解決法を話し合い、用意しておく。
		⑨事前指導、きまりについて他		ルールを守る大切さを確認する。	事前指導の一環として、皆が快適に活動するために、決まりを守る必要性について話を聞き、取材学習後に、振り返りをさせる。
5月23日	萩取材学習当日			班で協力して行動する	班で計画した学習ルートに沿って、協力して取材学習を行い、予定時間までに集合場所へ集まる。
5月24日		⑩「ジコ虫をやっつけろ」		自己中心的な行動を振り返り、気付く目を養う。	取材学習当日の各場面を振り返り、自己中心的な行動を改善するよう話し合う。
5月26日 5月28日 5月31日 6月2日	⑪ポスター制作、及び発表練習(4時間)			これまでの経験と学習を生かし、自主的に協力して活動に取り組ませる。(不十分な面があれば指導する機会と捉える。)	班で役割分担しながら、大判用紙にこれまでの学習内容をまとめる。ポスターが完成した後、同じように役割分担をしながら、発表に向けた練習を行う。
6月5日					⑫ポスター発表(2時間)
6月6日				協力した体験を肯定的に締めくくる。	ワークシートで、ハイ&サンクスといった振り返りを行う。
6月12日	⑬全体の振り返り				